

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2390600167
事業所名	グループホーム咲花新栄

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 町内会に加入し民生委員とは日常的な付き合いが継続され、地域情報の収集や協働関係を築いている。ふれあい給食のコミュニティーへの参加で住民との交流を継続したり、ハーモニカや傾聴等の地域ボランティアの来訪等で地域との途切れない付き合いができています。ホーム周辺の清掃活動や入居相談や見学にも随時対応して地域貢献を果たしている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 推進会議は年6回の開催し、包括職員、民生委員、家族の参加が得られ、活発な意見交換の場として運用されている。会議では運営状況報告、事例検討、薬剤師等を招いての講習会を実施して、取り組みの理解を深め協働関係を築く様努めている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 区窓口には些細な事でも何かあれば直ぐに相談し問題解決に向けている。生活保護課とは常に連携を図り、利用者の実情に合わせた支援に取り組み、協働関係を深めている。中区の同業事業者連絡会議の参加を通じて他グループホームや他事業者と情報交換や連携を図り、運営の向上に繋げている。市町村主催の研修、実務者研修等は内容、人材の状況に応じて参加を検討している。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 今年度はお便りをブログに切り替え、生活の様子をより充実して伝える工夫をしている。家族とは何かあれば電話や面会時に直接話をする機会を作り、信頼関係を深めている。利用者個人の要望には家族と連携を図り、外出の支援に繋げている。家族からの要望は職員間で検討し、支援に反映する体制を整えている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	○
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	R元年度
総合評価										○	○
実施年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度
総合評価	○	○	○	◎							